

針刺し防止のためのポイント 15

A 針刺し防止の心得

- 1 : すべての血液・体液は感染源になる
- 2 : 針を持ったまま他の動作を行わない
- 3 : 使用後の針は手渡ししない
- 4 : あわてないで冷静に取り組む

B 安全な作業環境の確保と準備

- 5 : 作業に適した明るさを確保する
- 6 : ゆとりある作業スペースを確保する
- 7 : 採血や点滴業務が集中することを避ける
- 8 : 患者およびスタッフの協力を得る

C 安全器材の活用原則

- 9 : 安全器材を使用する
- 10 : 安全装置を正しく作動させる

D 安全な廃棄の原則

- 11 : リキャップをしない
- 12 : 使用後の注射器は使用者が直ぐにその場で廃棄する
- 13 : 針ポイを携行する
- 14 : ペール缶は満杯になる前に交換する

E 報告（曝露後の対応）

- 15 : 針刺し切創、血液・体液曝露事例は必ず報告する

今一度、自身で
確認してみてください。
当院で針刺しの多くの
原因項目は太字下線！
要チェック！！

